

2004 . 5

白石区民のページ page

白石区インターネットホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>
白石区民公式サイト「shiroishi.org」
<http://www.shiroishi.org/>

一口に地域活動と言っても多種多様だが、とても数多くの活動に取り組んでいる人が区内にいる。教育関係やまちづくり、NPO活動などに力を入れて中島さんだ。

彼が活動を始めるようになったのは、平成六年二月に札幌で開催された「知恵の輪全国大会」から。世話人の一人としてこのイベントへの参加者を集めるため道内を回った。各地のまちおこし活動家たちが話す活動の内容やその思いに圧倒された。酒を交わしながら徹夜で話し続ける彼らに対し、話せる材料が見つからない。「自分には地域との接点がないことを思い知らされたんです。何かしなくち

やと思いましたがね」と振り返る。

このイベントが終わってもなく、地元の子ども会から行事の手伝いを頼まれた中島さんは二つ返事で引き受けた。その後、小学校のPTA会長を務める傍ら、野外で昔遊びをするグループを結成し、地域の父親を巻き込んだ活動を展開。最近では、昨年開催された「札幌市子ども議会」の小中学生「議員」へのアドバイザーを務めている。また、応急手当普及員として、市内の高校などに向いて講師を務めるなど、多岐にわたる活動をしているが、子どもに関わるものが目立つ。「子どものいる場所って、市民が参加し

自分の住んでいる街を、いいと思える街に自分たちがつくっていきけることがうれしい。

今月の人



数多くの地域活動に精力的に取り組む

なかじま まさはる
中島 正晴さん (四七)

(中央在住)

やすいですよ」と話す。本業は建築設計士。「住む人の心が豊かになれる家づくりを目指しています。それは地域づくりにも生かせるはず」と中島さん。仕事、家庭、地域に対する姿勢が実に自然体だ。「自分の住んでいる街を、いいと思えるような街につくっていきけることがうれしい」と地域活動の魅力を話す。

昨年暮れに、札幌市の「市民自治を考える市民会議」の委員に任命された。提言をまとめる作業に奔走する毎日だが、「これからも地域を良くしていくことに汗を流したい。仲間づくりとともにね」とソフトな口調の中にも力強さをにじませた。

編集 白石区役所総務企画課広聴係
☎003-8612
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1
☎861-2400 内線224
FAX860-5236